

令和5年度 第5回 藤沢市立善行小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年 2月 22日（木）9時30分～

場 所 善行小学校ランチルーム

出席委員	<p>齊藤 正枝（会長・青少年育成協力会会長） 田中 香里（副会長・善行小学校 校長） 松森 裕二（善行市民センター長） 定永 紀子（おばあの市場） 菅原 二恵（社会福祉協議会 おはようボランティア） 吉川 秀人（善行地区スクールガードリーダー） 上林 洋子（虹の子児童クラブ長） 飯田 将大（杉の子児童クラブ長） 宇留島 博史（前学校評議員） 松本 美由紀（善行地区コミュニティソーシャルワーカー CSW） 上原 有沙（善行小学校PTA会長） 近藤 雅美（教育総務課 指導主事） 木附 彩（善行小学校職員児童支援担当教諭） 荒船 和之（善行小学校 教頭）</p> <p style="text-align: right;">以上14名</p>
次第	<p>1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 （1）学校評価について（校長） （2）来年度の学校運営協議会について （3）その他 4. 授業参観 5. 閉会</p>
協議内容	<p>質疑応答 * 3.（1）について 【意見】 ・高学年の子どもの自己肯定感が低い点について、学校以外でも家庭・地域などでペップトーク等を活用して、子どもが前向きになれるような声かけをしていきたい。 ・他の学校でも Google フォームでのアンケートで回答率が下がると聞いた。紙のアンケートの良さもあるのではないか。 【質問】（→回答） ・学校アンケートの児童、保護者、教職員の各回答者数は？ →児童 407 名、保護者（1, 4, 6 年）112 名、教職員 22 名から回答を得た。保護者は1児童につき1回の回答なので、1, 4, 6 年の児童数で約 52%の回答率だった。 ・児童のアンケート項目で「あてはまらない」と回答した児童が、「学校は楽しい」、「学校の授業はわかりやすい」で2%弱、「いじめ」に関する項目で約4%いるが、同じ児童が回答したのかが気になった。 →Google フォームで回答しているので回答者の特定はできない。「あてはまら</p>

い」と回答した児童が同じかどうかは今後着目していく必要がある。
今後、「学校生活アンケート」を紙媒体で全児童対象に実施するので、回収の仕方を工夫して、児童の様子について把握していきたい。

・高学年の自己肯定感が低いというのは、例年と同じ程度なのか。今年度に限った話だとしたら原因はなにかを知りたい。

→昨年と同じ項目（「自分には良いところがあると思う」）の数値は80%だったので、昨年より10%低下。原因の分析は来週の職員の年間反省の中で実施予定。

* 3. (2) (校長より)

・「学校づくりアンケート」が来年度の学校運営協議会の運営のヒントになると思っている。委員の任期は2年なので、今年度の委員の方にはぜひ来年もご協力をいただき、運営協議会の活動を充実させていきたい。

* 3 (3) (校長・教頭より)

・卒業式について、委員の皆さんも学校関係者としてとなるが是非参列いただき、式の運営についてご意見いただきたい。

・5月15日の運営協議会委員研修会後の5月下旬に、来年度第1回目の運営協議会を開催予定。来年度は運営協議会に教職員が出席し、委員の皆さんと直接会う時間を設定したいと考えている。

* 各委員から (感想)

・秋からミシンボランティアを始めることができた。今後も地域としてどのように学校を支えていけるかを考えていきたい。

・学校運営協議会とそれ以外の団体をどのようにつなげていけるかを考えたい。

・自己肯定感については、大人も子どもも褒められていない。家の中でも日頃から良いことは褒め、悪いことは少し注意するようにしたい。良い気づきがあった。

・子どもたちが生き生きと過ごしている様子を見ることができた。

・低学年は褒められる機会が多いが、高学年は恥ずかしさや謙遜もあるのでは。

・先生たちが笑顔で接していて、子どもたちは幸せです。

・子どもも先生も笑顔が見られて良かった。学校の存在は大きい。家庭以外の人と関わる時間は、子どもへの影響も大きいと感じる。

・学校の様子を見ることで良かった。

・子どもたちが元気で楽しく過ごしていた。先生も楽しそうに授業をしていて、安心した。

・自己肯定感について、高学年は「できて普通」と思っている。その普通を普通ではない声かけをしていきたい。

・授業参観とは違った普段の学校の様子を見ることができた。

・先生たちと対話をしたい。

以上

次回開催日程(予定) 2024年 5月下旬 15時00分～
場所 善行小学校ランチルーム